

宿泊約款

(適用範囲)

第1条

当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2.当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条

当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- ①宿泊者名
 - ②宿泊日及び到着予定時刻
 - ③宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - ④その他当ホテルが必要と認める事項
- 2.宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条

宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2.前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3.申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4.第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までに支払うことができない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2.宿泊契約の申込みを承諾するに当り、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- ①宿泊の申込みが、この契約によらないとき。
- ②満室により客室の余裕がないとき。
- ③偽りその他不正な手段により宿泊の申込みを受けた

とき。

- ④宿泊しようとする者が、次の①から④に該当すると認められるとき。
 - ①暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ②暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ③法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - ④宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - ⑤宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。
 - ⑥宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。
 - ⑦宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - ⑧天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊をさせることができないとき。
 - ⑨宿泊をしようとする者が、泥酔者等で、他の宿泊者または利用者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められたとき、あるいは、宿泊者が他の宿泊者または利用者に著しく迷惑を及ぼす言動を行うものと認められるとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2.当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第2項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3.当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後10時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテル(館)の契約解除権)

第7条

当ホテル(館)は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- ①宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行をしたと認められるとき。
- ②宿泊客が次の①から④に該当すると認められるとき。
 - ①暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ②暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

③法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

- ③当ホテルが、前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客が未だ提供を受けていない宿泊等の料金はいただきません。
- ④宿泊客が、伝染病であると明らかに認められるとき。
- ⑤天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- ⑥寝室での寝タバコ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- ⑦宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- ⑧宿泊しようとする者が、泥酔者等の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき、あるいは宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(宿泊の登録)

第8条

宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- ①宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
- ②外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
- ③出発日及び出発予定時刻
- ④その他当ホテルが必要と認める事項

2.宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条

宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後15時から翌朝11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- ①午後14時までは、1時間延長毎に1,000円（税込）
- ②午後14時以降は、ご一泊分の客室料金

(利用規則の遵守)

第10条

宿泊客は、当ホテル内においては当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条

当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。

- ①フロント・キャッシャー等サービス時間/24時間営業
- 2.前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせいたします。

宿泊約款

(料金の支払い)

第12条

宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

2.前項の宿泊料金等の支払いは、通貨（円）、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3.当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けず。

(当ホテルの責任)

第13条

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2.当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条

当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条

宿泊客がフロントにお預けになった物品について、滅失、毀損等が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、当ホテルの付保する保険約款に則り損害の賠償を致します。

2.宿泊客が、当ホテル内にお持込になった物品であってフロントにお預けにならなかったものについて滅失、毀損等が生じたときは、当ホテルは責任を負いかねます。ただし、当ホテルの過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、当ホテルの付保する保険約款に則り損害を賠償致します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条

宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2.宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、原則として発見日を含めて一定期間保管し、最寄りの警察署に届けます。

3.前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前第1項の規定に、第2項の場合にあっては前条第2項の規定に準じるものとします。

(室内貸金庫の利用)

第17条

当ホテルは、宿泊客が客室備え付けの貸金庫に格納する物について保管を約するものではなく、格納物の滅失、毀損等についての責任は負いかねます。

2.貸金庫には、爆発物等の危険物、動物、その他当ホテル又は第三者に損害を及ぼすおそれのある物を格納することはできません。

3.貸金庫の利用期間は、宿泊客のチェックイン時からチェックアウト時までとします。

4.当ホテルは、貸金庫の利用期間外に格納物が残置されている場合には、開庫のうえ、前条第2項に準じて保管及び届出を行ないます。この場合の保管についての当ホテルの責任は、第15条第2項の規定に準じるものとします。

5.当ホテルは、法令の定めにより貸金庫の開庫を求められたとき、格納品が当ホテル又は第三者に損害を及ぼすおそれがあると認められるとき、その他開庫の必要性が認められる場合には、貸金庫の利用期間内であっても、貸金庫の開庫その他当ホテルが必要と認める措置をとることができるものとします。なお、これによって生じた損害については、当ホテルは責任を負いかねます。

(駐車場の責任)

第18条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車輛のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所を

お貸しするものであって、車輛の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第19条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

(免責事項)

第20条

私共のホテル内からのコンピューター通信のご利用にあたりましては、お客様ご自身の責任にて行うものといたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当社が不適切と判断した行為により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

(準拠する言語)

第21条

この約款が日本語以外の言語で作成された場合、その言語の約款と日本語の約款との間に不一致又は相違があるときは、すべて日本語の約款によるものとします。

別表第1 宿泊料金の内訳（第2条第1項及び第12条第1項関係）

	宿泊料金	①客室料金	②サービス料（①×0%）
		③飲食料及びその他の利用料金	④サービス料（③×0%）
宿泊客が支払うべき総額	税金	① 消費税	
		② 宿泊税 客室料金（①+②）…………… 1名あたり	
		10,000円未満 …………… 課税されません	
		10,000円以上15,000円未満 …………… 100円	
		15,000円以上 …………… 200円	

備考 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約解除を受けた日		契約申込人数				
		不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般	14名まで	100%	100%	20%	-	-
	15名～99名まで	100%	100%	20%	10%	-
団体	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注) 1. %は客室料金に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

Accommodation clause

(Scope of Application)

Article 1

Accommodation Contract and other ancillary agreements finalized between the Hotel and guests shall be subject to these Terms and Conditions. Any matters not set forth herein shall be governed by applicable laws and generally established business practices.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, any Special Contract prescribed by the Hotel shall take precedence to the extent that such do not contravene applicable laws and generally established business practices.

(Application for an Accommodation Contract)

Article 2

Persons wishing to apply to the Hotel for an Accommodation Contract shall be required to provide the Hotel with the following:

- (1) Name(s) of guest(s).
 - (2) Date(s) of accommodation and estimated time of arrival.
 - (3) Accommodation charges (in principle, the basic accommodation charges stated in Table 1).
 - (4) Other matters as deemed necessary by the Hotel.
2. When a current guest wishes to extend his or her stay beyond the date stated in subparagraph (2) of the preceding paragraph, the Hotel shall treat such request as a new application for an Accommodation Contract at the time thereof.

(Formation of the Contract)

Article 3

An Accommodation Contract shall be finalized upon acceptance by the Hotel of an application under Article 2 unless the Hotel establishes proof that there was no such acceptance.

2. Upon finalizing an Accommodation Contract under the preceding paragraph, payment of an application fee as prescribed by the Hotel to a maximum of the basic charge for the time of stay must be paid by the date designated by the Hotel.
3. The application fee shall first be applied to the final accommodation charges payable by the guest followed next to any penalties under Article 6 and finally to damages payable under Article 19 if any, with any balance remaining thereafter to be returned at the time of payment of charges under Article 12.
4. If payment of the application fee prescribed under Paragraph 2 is not made by the date designated by the Hotel under said Paragraph, the Accommodation Contract shall be voided provided the Hotel has informed the guest of such fact when designating the deadline for payment of the application fee.

(Special Contract Eliminating Requirement for Payment of Application Fee)

Article 4

Notwithstanding the provisions of Article 3.2, there may be occasions when the Hotel waives the requirement of payment of the application fee upon finalizing an Accommodation Contract under a Special Contract.

2. Upon acceptance of an application for an Accommodation Contract, in cases where the Hotel has not requested payment of an application fee under Article 3.2 and has not designated a deadline for payment of the same, handling shall be according to the Special Contract stated in the preceding paragraph.

(Refusal to finalize the Contract)

Article 5

The Hotel shall not finalize an Accommodation Contract in the following cases:

- (1) The application for accommodation is not conducted according to this Contract.

(2) There are no vacant rooms.

(3) The application for accommodation contains false statements or was conducted in an inappropriate manner.

(4) The person wishing to stay is recognized to be a party equivalent to a. through c. below: a. An organized crime group as prescribed under Article 2 (2) of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Law No. 77 of 1991; hereinafter "organized crime group"), a member of an organized crime group as prescribed under Article 2(6) of the same Act ("organized crime group member"), associate or affiliate of an organized crime group, or other antisocial organization. b. A corporation or other group whose business activity is controlled by an organized crime group or organized crime group member. c. A corporation that maintains a director that is an organized crime group member.

(5) The person wishing to stay is recognized as one with the potential to abuse his or her stay by engaging in conduct that constitutes a violation of applicable laws and regulations, will disturb the peace or will be offensive to public morality.

(6) The person wishing to stay is clearly recognized to have a communicable disease.

(7) The person wishing to stay has made demands by threats or has made demands that exceed what is reasonable in relation to the stay.

(8) Accommodation cannot be made available because of natural disaster, mechanical failure or other unavoidable reason.

(9) The person wishing to stay is recognized to have the potential to cause significant disturbance to other guests or visitors such as being in a state of intoxication, or as a guest, is recognized as the source of speech and conduct that significantly disturbs other guests and visitors.

(Right of Guest to Cancel the Contract)

Article 6

Guests may request that the Hotel cancel an Accommodation Contract.

2. If an Accommodation Contract is canceled in its entirety or in part for a reason attributable to a guest (but excluding cancellation of an Accommodation Contract by a guest prior to payment of the application fee in cases where the Hotel has requested that such be paid by a designated date under the provisions of Article 3.2), the Hotel shall charge a penalty as stated in Table 2; provided, however, that in cases where the Hotel has granted a Special Contract under Article 4.2, the guest may cancel the Accommodation Contract as per the said Special Contract provided the Hotel has informed the guest concerning the obligation to pay a penalty upon such cancellation by the guest.
3. If a guest has not arrived by 10:00 PM on the day of the Accommodation Contract without having contacted the Hotel (or in cases when it is clearly known beforehand that arrival will be delayed, then after two hours have passed since the given time), the Hotel shall regard the Accommodation Contract as having been canceled by the guest.

(Right of Hotel to Cancel the Contract)

Article 7

The Hotel may cancel an Accommodation Contract in any of the following cases:

- (1) The guest is recognized as one with the potential to abuse his or her stay by engaging in conduct that constitutes a violation of applicable laws and regulations, will disturb the peace or will be offensive to public morality, or is found to have engaged in such conduct.
- (2) The guest is recognized to be a party equivalent to

a. through c. below: a. An organized crime group, organized crime group member, associate or affiliate of an organized crime group, or other antisocial organization. b. A corporation or other group whose business activity is controlled by an organized crime group or organized crime group member. c. A corporation that maintains a director that is an organized crime group member.

(3) If the Hotel cancels an Accommodation Contract under the provisions of subparagraph (2), the guest shall not be charged for any accommodation or other services that were not yet provided.

(4) The guest is clearly recognized to have a communicable disease.

(5) Accommodation cannot be made available because of a force majeure event such as natural disaster.

(6) The guest has smoked in bed, tampered with fire prevention equipment and such, or has otherwise failed to comply with matters that are prohibited under the Hotel's regulations (limited to such necessary for fire prevention).

(7) The guest has made demands by threats or has made demands that exceed what is reasonable in relation to the stay.

(8) The guest is recognized to have the potential to cause significant disturbance to other guests or visitors such as being in a state of intoxication, or as a guest, is recognized as having engaged in speech and conduct that significantly disturbs other guests.

(Guest Registration)

Article 8

Guests must register the following matters at the Hotel's front desk at check-in:

- (1) Guest's name, age, gender, address and occupation.
 - (2) For foreign guests, their country of citizenship, passport number, port of entry and landing date.
 - (3) Scheduled date and time of check-out.
 - (4) Other matters as deemed necessary by the Hotel.
2. Guests wishing to pay the charges stated in Article 12 in a manner other than cash such as accommodation voucher or credit card must inform the front desk at the time of registration under the preceding paragraph.

(Room Availability Times)

Article 9

The times during which rooms at the Hotel are available for use by guests are between 3:00 PM and 11:00 AM on the following day. However, on days other than check-in and check-out, rooms are available for use without interruption during a continuous stay.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the Hotel may permit rooms to be available at times other than prescribed in the preceding paragraph provided that the following additional charges shall apply in such cases.

- (1) Until 2:00 PM, /1,000 yen for each additional hour (includes tax).
- (2) After 2:00 PM, guests will be charged for an additional night.

(Compliance With Hotel Regulations)

Article 10

Guests are required to comply with regulations posted in the Hotel.

(Business Hours)

Article 11

The following are the times that the principal facilities of the Hotel are open. For the specific times of operation of other facilities, please refer to pamphlets, signs and the service directory in guest rooms.

- (1) Front desk cashier: open 24 hours.

Accommodation clause

operation may be changed when necessary or when unavoidable. In such cases, guests will be informed appropriately.

(Payment of Charges)

Article 12

The items subject to accommodation charges payable by guests and their method of calculation are stated in Table 1.

- Payment of accommodation and other charges under the preceding paragraph is to be made in cash (yen), accommodation voucher, credit card or other manner at the front desk at the time of check-out or upon being invoiced by the Hotel.
- Accommodation charges shall apply when the Hotel makes a room available to the guest for use even if the guest voluntarily decides not to make use of the accommodation.

(Liability of Hotel)

Article 13

Unless occurring for a reason that is not attributable to the Hotel, the Hotel shall make restitution for any damages incurred by a guest resulting from the Hotel's failure to honor an Accommodation Contract and related agreements.

- The Hotel shall obtain a policy of hotel liability insurance to cover fire and other damage.

(Procedures If Contracted Room Cannot Be Made Available)

Article 14

If the Hotel is unable to make a room available to a guest as contracted, the Hotel shall make its best effort to secure accommodation that is of equivalent quality subject to consent from the guest.

- Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if the Hotel is unable to secure accommodation at another facility, the Hotel shall pay the guest an amount of compensation inclusive of a penalty as compensation for damages; provided, however, that no such compensation shall be paid if the inability to make a room available is for a reason not attributable to the Hotel.

(Handling of Articles Placed in Hotel Custody)

Article 15

Except when caused by a force majeure event, articles that guests leave in custody with the front desk that are lost, damaged or destroyed shall be covered under insurance maintained by the Hotel.

- The Hotel shall assume no liability for any damage or destruction experienced by articles brought into the Hotel by guests but are not left in custody with the front desk; provided, however, that, if such loss, damage or destruction is the result of negligence on the part of the Hotel, the Hotel shall cover the same under insurance it maintains.

(Storage of Guest's Hand-Carried Luggage and Portable Articles)

Article 16

When a guest's hand-carried luggage arrives at the Hotel ahead of the guest's stay, provided the Hotel has agreed prior to its arrival, the Hotel will assume responsibility for custody of the same and deliver it to the guest at check-in.

- In principle, if a guest mistakenly leaves hand-carried luggage or portable articles at the Hotel after checking out, the Hotel shall store the same for a specific period of time beginning on the day of its discovery and then file a report with the local police department.
- The Hotel's liability regarding custody of a guest's hand-carried luggage or portable articles under Paragraphs 1 and 2 shall be subject to the provisions

of Article 15.1 concerning cases coming under Paragraph 1 above and similarly subject to the provisions of Article 15.2 for cases coming under Paragraph 2 above.

(Use of Room Safes)

Article 17

The hotel gives no assurance of security for articles placed in room safes by guests and shall have no liability for loss or damage to articles that are stored.

- Safes may not be used to store dangerous materials such as explosives, animals, or other articles that are harmful or potentially harmful to the Hotel or third parties.
- Safes are available for use by guests between check-in and check-out.
- If there are any articles left in a safe at a time other than when it is available for use, the Hotel shall open the safe, and store such articles and file a police report as prescribed in Article 16.2. In such event, the Hotel's liability in conjunction with the custody of such articles shall be subject to the provisions of Article 15.2.
- If the opening of a safe is required under the provisions of applicable laws and upon doing so it is found that articles stored therein are potentially harmful to the Hotel or third parties, notwithstanding that such action is taken during the time the safe is available for use when opening the safe is otherwise deemed necessary, the Hotel may take other measures to open the safe as deemed necessary by the Hotel. In such event, the Hotel shall have no liability for any damages resulting from such action.

(Liability of Hotel Concerning Parking)

Article 18

When guests use the Hotel's parking spaces, such use is by hire from the Hotel and the Hotel shall have no

liability for management of vehicles even when vehicle keys are placed in the Hotel's custody; provided, however, that if damage is the result of intentional or negligent conduct on the part of the Hotel regarding management of the parking spaces, the Hotel shall be liable to make restitution for such damages.

(Liability of Guest)

Article 19

If the Hotel incurs damages resulting from intentional or negligent conduct on the part of a guest, the guest shall make restitution to the Hotel for such damages.

(Exclusions)

Article 20

Guests using computer communication from the Hotel do so at their own liability, and the Hotel assumes no liability whatsoever for any damages experienced by users resulting from an interruption of service during computer communication because of system failure or other reason. Furthermore, if the Hotel and any third parties incur damages resulting from conduct by a guest that is determined by the Company to constitute inappropriate use of computer communication, the guest shall make restitution for such damages.

(Governing Language)

Article 21

If these Terms and Conditions have been prepared in a language other than Japanese and there is a conflict or discrepancy between the provisions in such other language and the Japanese language version, the Japanese language version of these Terms and Conditions shall take precedence in all cases.

Table 1. List of Accommodation Charges (Article 2.1 and Article 12.1)

	Accommodation Charge	①Room charge	②Service fee (①×0%)
		③Food and other service fees	④Service fee (③×0%)
Total Amount Payable by Guests	Tax	a. Consumption tax	
		b. Lodging tax room charge (①+②)per person	
		Under ¥10,000None	
		¥10,000 - Under ¥15,000¥100	
		¥15,000 and above¥200	

Note, amounts may be subject to change in response to amendment of the tax laws.

Table 2. Penalties (Article 6.2)

No. of People in Contract	Day of Contract Cancellation	No arrival	Same day	Previous day	9 days before	20 days before
		Ordinary	14 or less	100%	100%	20%
Group	15 - 99	100%	100%	20%	10%	-
	100 or more	100%	100%	80%	20%	10%

(Notes) 1. The percent figures are the rate of the penalty relative to the room charge.

- If the number of days of a contract is shortened, a penalty equal to one day's charges shall be collected (first day) regardless of the number of days that the contract is shortened.
- If a group contract (15 or more persons) is canceled in part and the cancellation occurs 10 days before the stay (of if the application was accepted after that day, the day of the acceptance), no penalty will be charged for a number of people equal to 10% of the number of people booked to stay (the percentage figure to be rounded down).

住宿条款

(适用范围)

第1条

本宾馆与顾客之间签署的住宿协议以及与此相关的协议应根据本条款规定的内容。本条款中未尽事宜，应依据相关法令或者已确定的习惯执行。

2. 本宾馆在不违反相关法律及惯例使用范围的前提下制定特别条款时，则不受限于前项规定，可优先执行该特别条款。

(住宿协议的申请)

第2条

本宾馆预约住宿的顾客，应向本宾馆提交以下事项。

(1) 住宿者姓名

(2) 入住日期及预计到达时间

(3) 住宿费(原则上根据附表1中揭示的基本住宿费)

(4) 宾馆需要确认的其他事项

2. 前项第2款所述的入住期满后，如顾客申请延长住宿日期，本宾馆将依据提交的申请办理新的住宿协议。

(住宿协议的成立等相关事项)

第3条

经本宾馆认可后，前事项中预约的住宿协议即成立。但是，如未经宾馆方认可，则不在此限

2. 依据前项规定成立住宿协议后，即应在指定日期前向本宾馆支付以住宿期间的的基本住宿费为限额的本宾馆指定订金。

3. 订金一般用于结算顾客应支付的最终住宿费，当发生第6条及第19条规定的相关事态时，将依次作为违约金及赔偿金，如尚有余额，则将在执行第12条规定的费用支付时予以退还。

4. 第2项所述订金如依据同项规定而未能于本宾馆指定日期前予以支付时，则该住宿协议视为无效。但仅限于本宾馆告知顾客订金支付日期时。

(无须支付订金的特别条款)

第4条

针对协议成立后无须支付第2项所述订金的情况，本宾馆制定了对应特别条款，可忽略第2项所述规定。

2. 认可住宿协议申请后，如本宾馆未提出前条第2项所述的订金支付要求、或未指定订金支付日期，则可依据前项中的特别条款予以办理。

(拒绝签署住宿协议)

第5条

发生以下情况时，本店将不予签署住宿协议。

(1) 未依据本条款预约住宿时。

(2) 客房已满无法安排入住时。

(3) 以伪造或其他不正当手段申请住宿时。

(4) 预约入住的顾客被界定为以下任意一项时。

①根据防止暴力团非法行为的法律(平成3年法律第77条)第2条第2项所规定的暴力团(以下简称暴力团)，同法律第2条第6项所规定的暴力团成员(以下简称暴力团)，暴力团批准构成成员或相关人员以及其他反社会势力。

②由暴力团或暴力团成员支配从事业务活动

的预约入住法人顾客或其他团体。

③公司董事中有暴力团成员身份的预约入住法人顾客。

(5) 入住者被认定在住宿期间将会进行违反相关法律规定、公共秩序或良好风俗的活动时。

(6) 预约入住的顾客明确患有传染病。

(7) 以暴力行为要求入住或对住宿相关事宜提出的要求超出合理范围时。

(8) 发生天灾、设施故障、或其他不可抗力因素导致无法入住时。

(9) 申请住宿者深度醉酒或其行为举动被认为有可能严重干扰其他顾客正常住宿的预约入住顾客。

(顾客的协议解除权)

第6条

经向本宾馆提出申请后，顾客可解除住宿协议。

2. 顾客出于私人原因而解除全部或部分协议时(依据第3条第2项规定，宾馆指定订金支付日期并要求付款后，顾客未予支付即已解除住宿协议时除外。)，应根据附表2所示支付违约金。取消顾客解除协议相关违约金的情况，仅适用于本宾馆第4条第2项所述特别条款预先告知住宿的顾客后。

3. 预定入住的当天下午10点后(预先告知到达时间而超过2小时以上)，如顾客仍未到达本宾馆且未与本宾馆取得联系，则本宾馆将视顾客已解除协议，并办理相关事宜。

(酒店的协议解除权)

第7条

发生下列情况时，本宾馆可解除住宿协议。

(1) 被认定在住宿期间将会进行违反相关法律规定、公共秩序或良好风俗的活动时，抑或被认定已实施上述行为时。

(2) 符合以下任意一项时。

①暴力团，暴力团成员，暴力团准构成人员以及暴力团相关人士等反社会势力者。

②指使暴力团或暴力团成员从事业务活动的法人顾客或其他团体。

③公司董事中有暴力团成员身份的预约入住法人顾客。

(3) 本宾馆根据以上规定解除和顾客的住宿协议时，将不收取顾客未住宿部分的费用。

(4) 预约入住的顾客明确患有传染病。

(5) 发生天灾、设施故障、或其他不可抗力因素导致无法入住时。

(6) 在床上吸烟、摆弄消防设备、以及未遵守本宾馆规定的其他使用规则(预防火灾的必要事项)时。

(7) 以暴力行为要求入住或对住宿相关事宜提出的要求超出合理范围时。

(8) 申请住宿者深度醉酒或其行为举动被认为有可能严重干扰其他顾客正常住宿的预约入住顾客。

(住宿登记)

第8条

顾客入住当天，应在本宾馆前台登记以下事项。

(1) 入住顾客姓名、年龄、性别、住址及职业

(2) 外国人应登记国籍、护照号码、入境地点及入境年月日

(3) 出发日及预计出发时间

(4) 本宾馆规定的其他事项

2. 顾客如使用旅行支票、住宿券、信用卡等方式支付第12条规定的费用，应在登记时事先予以出示。

(客房的使用时间)

第9条

顾客可使用本宾馆的时间从到达日的下午3点至次日日上午11点。但如为连续住宿，则除却到达日及出发日外可整天使用。

2. 除上述规定外，本宾馆允许顾客于前项规定外的时间使用客房。但需要收取追加费用。

(1) 每天下午2点之前，每延长1小时，加收1,500日元(含税)

(2) 超过每天下午2点，加收一天的房费

(遵守使用规则)

第10条

顾客在宾馆住宿期间，应遵守本宾馆规定并于宾馆内公布的使用规则。

(营业时间)

第11条

本宾馆主要设施等场所的营业时间如下所示，其他设施的详细营业时间将在配发的指南手册、宾馆内公告、客房内的服务项目目录中予以介绍。

(1) 前台服务时间 24小时

2. 前项的时间处于特殊需要或不得已的情况下会有临时变更。届时会及时通知顾客。

(支付费用)

第12条

顾客应支付的住宿费用明细，如附表1中所示。

2. 出发离开或本宾馆要求支付前项所述住宿费等情况时，顾客可采用日元现金或住宿券、信用卡等方式于宾馆前台进行支付。

3. 本宾馆已为顾客安排客房且可以入住时，如顾客未行住宿，将按照收取住宿费

(酒店责任)

第13条

本宾馆履行住宿协议及相关协议的过程中或由于未履行协议而造成顾客损失时，本宾馆予以赔偿。但是，如该损失不属于本宾馆责任范围内，则不予赔偿。

2. 为应对意外火灾等突发事件，本宾馆已加入宾馆赔偿责任保险。

(无法提供已定客房时的处理办法)

第14条

本宾馆与顾客签订协议后而无法提供客房时，应取得顾客谅解，并安排尽可能相同条件的其他住宿服务设施。

2. 如本宾馆无法安排其他住宿服务设施时，应向顾客支付与违约金等额的赔偿金，作为损失补偿额。但是，并非本宾馆原因而导致无法提供客房时，则不予支付

住宿条款

赔偿金。

(寄存物品的管理)

第15条

顾客寄存在前台的物品或现金及贵重物品发生丢失或损毁等损失时，除不可抗力因素外，本宾馆将予以赔偿。

2. 顾客未在前台寄存而带入本宾馆的物品、现金及贵重物品发生损坏、损失时，本宾馆将不承担责任。如由于本宾馆过失造成顾客物品的损坏和损失，本宾馆将依据加入保险的相应条款给予赔偿。

(顾客行李或随身物品的保管)

第16条

顾客行李提前到达本宾馆时，如到达前已告知本宾馆，则将由本宾馆负责保管，并在顾客在前台办理入住登记时予以交还。

2. 顾客办理退房手续后，如将行李或随身物品遗忘在前台，本宾馆将从发现当天起予以一定期限的保管，过后将递交最近的警察署。

3. 本宾馆保管前2项中所述的顾客行李或随身物品，如符合第1项，将依据前条第1项规定处理；如符合上一项，则依据前条第2项规定处理。

(客房保险箱的使用)

第17条

本宾馆对客人在各自客房保险箱内保管的物品不做任何保障的承诺。对客人保管的物品的丢失，损坏等结果不承担任何责任。

2. 保险箱内禁止存放爆炸物等危险品，动物以及有可能对本宾馆或他人带来损害的物品。

3. 顾客的保险箱使用时间限定为从入住起到退房为止。

4. 对于超过本宾馆保险箱使用限制时间后仍遗留留在保险箱内的物品，本宾馆将根据以上第2项实施开箱并保管遗留物品。其间本宾馆将根据第15条第2项规定承担保管责任。

5. 本宾馆根据法令要求打开保险箱时，保存物品被认为有可能给本宾馆或他人带来损害时，以及其他具有打开保险箱的合理理由时，即使是在顾客的保险箱使用期限内，本宾馆也有权打开保险箱或采取其他必要措施。同时对由此可能产生的损失本宾馆不承担任何责任。

(停车场相关责任)

第18条

顾客使用本宾馆停车场时，不论是否寄存汽车钥匙，均属于租用本宾馆场地，本宾馆不承担车辆管理责任。但是，在管理停车场过程中，由于本宾馆故意或过失造成损失时，应承担赔偿责任。

(住宿顾客的相关责任)

第19条

由于顾客的故意或过失行为造成的损失时，应向本宾馆赔偿损失。

(免责事项)

第20条

利用本宾馆的计算机网络，由住客人自行负责。入住客人在使用计算机网络中由于系统故障及其他理由而服务中断，其结果使用者受到的所有损失，本宾馆不承担任何责任。同时使用计算机时，本宾馆判断为不适宜的行为，并对本宾馆及第三者造成损失时，将索取赔偿。

(使用语言)

第21条

以日语以外的文字表述的本条款时，内容如与日语条款内容发生差异，请以日语条款内容为准。

附表1 房价表(第2条第1项以及第12条第1项关系)

	住宿费	①房费	②服务费(①×0%)
		③食品饮料以及其他服务的使用费 ④服务费(③×0%)	
客人应支付的总金额	税金	(1) 消费税	
		(2) 住宿税 房费(①+②)..... 每人 不满10,000日元..... 不加税 10,000日元以上—不满15,000日元..... 100日元 15,000日元以上..... 200日元	

备注 一旦税法发生修改，将参照修改后的税法收费。

附表2 违约金(第6条第2项关系)

取消协议时间		预约人数				
		未入住	入住当天	入住前一天	入住9天前	入住20天前
个人	14人为止	100%	100%	20%	-	-
	15人~99人为止	100%	100%	20%	10%	-
团体	100人以上	100%	100%	80%	20%	10%

(备注) 1 %表示针对基本住宿费的违约金收取比例

2 如果缩短预约天数，无论缩短多少天，都将收取1天(第一天)的违约金。

3 团体客(15人以上)中的部分顾客解除协议时，如解除协议人数未超过入住10天前(如受理申请之日在入住日10天前之后，则为受理日当天)的10%(非整数时向上进为整数)，则无需支付违约金。

숙박약관

(적용범위)

제1조

당 호텔이 숙박객과 체결하는 숙박계약 및 이와 관련된 계약은 이 약관이 정한 것에 따르며, 이 약관에 정해지지 않은 사항에 관해서는 법령 내지는 일반적으로 확립된 관습에 따르기로 합니다.

2 당 호텔이 법령 및 관습에 반하지 않는 범위에서 특약에 응하는 경우는, 전항의 규정과 상관없이 특약을 우선합니다.

(숙박계약 신청)

제2조

당 호텔에 숙박계약 신청을 하고자 하는 자는 다음 사항을 당 호텔에 알려주셔야 합니다.

(1) 숙박자명

(2) 숙박일 및 도착 예정 시각

(3) 숙박요금(원칙적으로 별표 제1의 기본숙박료를 따릅니다.)

(4) 기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항

2 숙박객이 숙박중에 전항 제2호의 숙박일을 넘는 숙박 연장을 요청할 경우, 당 호텔은 그 요청을 받은 시점에서 새로이 숙박계약이 신청된 것으로 처리합니다.

(숙박계약 성립 등)

제3조

숙박계약은 당 호텔이 전조의 신청을 승낙했을 때에 성립되는 것으로 합니다. 단, 당 호텔이 승낙하지 않음을 증명했을 시는 이와 같지 않습니다.

2 전항 규정에 따라 숙박계약이 성립되면, 숙박기간의 기본 숙박료를 한도로 당 호텔이 정한 신청금을 당 호텔이 지정한 날까지 지불하셔야 합니다.

3 신청금은 우선, 숙박객이 최종적으로 지불해야하는 숙박요금에 충당하며, 제6조 및 제19조의 규정에 적용되는 사태가 발생했을 시는 위약금에 이어서 배상금 순서로 충당하며, 잔액이 있으면 제12조 규정에 의한 요금 지불 시에 반환합니다.

4 제2항의 신청금을 통한 규정에 따라 당 호텔이 지정한 날까지 지불하지 않을 경우, 숙박계약은 그 효력을 상실합니다. 단, 신청금의 지불기일을 지정하는데 있어 당 호텔이 (이를 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.)

(신청금 지불을 요구하지 않는 특약)

제4조

전조 제2항 규정에도 불구하고 당 호텔은 계약 성립 후 동항의 신청금 지불을 요구하지 않는 특약에 응하는 경우가 있습니다.

2 숙박계약 신청을 승낙하는데 있어 당 호텔이 전조 제2항의 신청금 지불을 요구하지 않은 경우 및 해당 신청금의 지불기일을 지정하지 않은 경우는 전항의 특약에 응하는 것으로 취급합니다.

(숙박계약 체결 거부)

제5조

당 호텔은 다음과 같은 경우, 숙박계약의 체결에 응하지 않을 수 있습니다.

(1) 숙박 신청이 이 계약에 의하지 않는 경우.

(2) 만실로 인해 객실의 여유가 없을 경우.

(3) 허위, 기타 부정한 수단으로 숙박 신청을 받았을 경우.

(4) 숙박하고자 하는 자가 다음의 가~다에 해당되는

것으로 인정되는 경우.

가 폭력조직원에 의한 부당한 행위 방지 등에 관한 법률(1991년 법률 제77호) 제2조 제2호에서 규정하는 폭력조직(이하 '폭력조직'이라 함), 동조 제2조 제6호에서 규정하는 폭력조직원(이하 '폭력조직원'이라 함), 폭력조직 준구성원 또는 폭력조직 관계자, 그 외 반사회적 세력

나 폭력조직 또는 폭력조직원이 사업활동을 지배하는 법인, 그 외 단체인 경우

다 법인에서 그 임원 중에 폭력조직원에 해당되는 자가 있을 경우

(5) 숙박하고자 하는 자가 숙박과 관련해 법령 규정, 공공질서 내지는 선량한 풍속에 반하는 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우.

(6) 숙박하고자 하는 자가 전염병임이 명백히 인정되는 경우.

(7) 숙박에 관해 폭력적 요구행위가 있거나, 또는 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구할 경우.

(8) 천재지변, 시설 고장 등 기타 불가피한 사유로 숙박에 응할 수 없는 경우.

(9) 숙박하고자 하는 자가 만취상태 등으로 인해 다른 숙박자 또는 이용자에게 명백히 피해를 끼칠 우려가 있다고 인정되는 경우, 내지는 숙박자가 다른 숙박자 또는 이용자에게 명백히 피해를 끼치는 언행을 할 것으로 인정되는 경우.

(숙박객의 계약해제권)

제6조

숙박객은 당 호텔에 요청하여 숙박계약을 해제할 수 있습니다.

2 당 호텔은 숙박객이 그 귀책사유로 인해 숙박계약의 전부 또는 일부를 해제한 경우(제3조 제2항 규정에 의거해 당 호텔이 신청금 지불기일을 지정하여 그 지불을 요구한 경우이며, 그 지불 이전에 숙박객이 숙박계약을 해제한 경우는 제외합니다.)는 별표 제2에서 열거한 대로 위약금을 받습니다. 단, 당 호텔이 제4조 제2항의 특약에 응한 경우에는, 그 특약에 응하는데 있어서 숙박객이 숙박계약을 해제했을 시의 위약금 지불 의무에 대해, 당 호텔이 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.

3 당 호텔은 숙박객이 연락 없이 숙박 당일 오후 10시(사전에 도착예정시각이 명시된 경우는 그 시각을 2시간 경과한 시각)에도 도착하지 않을 시, 그 숙박계약은 숙박객에 의해 해제된 것으로 간주하고 처리할 수 있습니다.

(당 호텔(관)의 계약해제권)

제7조

당 호텔(관)은 다음과 같은 경우에 숙박 계약을 해제할 수 있습니다.

(1) 숙박객이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서나 선량한 풍속에 반하는 행위를 할 우려가 있는 것으로 인정되는 경우, 또는 해당 행위를 한 것으로 인정되는 경우.

(2) 숙박객이 다음의 가~다에 해당되는 것으로 인정되는 경우. 가 폭력조직, 폭력조직원, 폭력조직 준구성원 또는 폭력조직 관계자 그 외 반사회적 세력 나 폭력조직 또는 폭력조직원이 사업활동을 지배하는 법인, 그 외 단체인 경우 다 법인에서 그 임원 중에 폭력조직원에 해당되는 자가 있을 경우

(3) 당 호텔이 전항 규정에 의거해 숙박계약을 해제한 경우는 숙박객이 아직 제공받지 않은 숙박 등의 요금은 청구하지 않습니다.

(4) 숙박객이 전염병임이 명백히 인정되는 경우.

(5) 천재지변 등 불가항력에 기인하는 사유로 인해 숙박에 응할 수 없는 경우.

(6) 침실에 누운 채 흡연을 하거나, 소방용 설비 등에 장난을 치거나, 그 외 당 호텔이 정한 이용규칙 금지사항(화재예방상 필요한 것에 한함)에 따르지 않을 경우.

(7) 숙박에 관해 폭력적 요구행위가 있거나, 또는 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구할 경우.

(8) 숙박하고자 하는 자가 만취상태 등으로 인해 다른 숙박자에게 명백히 피해를 끼칠 우려가 있다고 인정되는 경우, 내지는 숙박자가 다른 숙박자에게 명백히 피해를 끼치는 언행을 했을 경우.

(숙박 등록)

제8조

숙박객은 숙박일 당일, 당 호텔 프런트에서 다음 사항을 등록하여 주십시오.

(1) 숙박객의 성명, 연령, 성별, 주소 및 직업

(2) 외국인일 경우는 국적, 여권번호, 입국지 및 입국 연월일

(3) 출발일 및 출발예정시각

(4) 기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항

2 숙박객이 제12조 요금 지불을 숙박권, 신용카드 등 통화를 대신하는 방법으로 지불하고자 하는 경우, 사전에 전화 등록 시에 이를 제시하셔야 합니다.

(객실 사용시간)

제9조

숙박객이 당 호텔 객실을 사용할 수 있는 시간은 오후 15시부터 익일 오전 11시까지입니다. 단, 연속해서 숙박할 경우는 도착일 및 출발일을 제외하고 종일 사용이 가능합니다.

2 당 호텔은 전항 규정에도 불구하고 동항이 정한 시간 외의 객실 사용에 응할 수 있습니다. 그 경우는 다음에 열거한 추가요금을 받습니다.

(1) 오후 14시까지는 1시간 연장마다 1,000엔(세금 포함)

(2) 오후 14시 이후는 1박치 객실요금

(이용규칙 준수)

제10조

숙박객은 당 호텔 내에서는 당 호텔이 정한 호텔 내에 게시한 이용규칙에 따라주셔야 합니다.

(영업시간)

제11조

당 호텔의 주요 시설 등 영업시간은 다음과 같으며, 기타 시설 등의 자세한 영업시간은 구비된 팸플릿, 각종 게시물, 객실 내 서비스 디렉토리 등에서 안내해드리고 있습니다.

(1) 프런트·캐셔 등 서비스 시간/ 24시간 영업

2 전항의 시간은 불가피한 사정으로 인해 임시로 변경될 수 있습니다. 이 경우 적절한 방법을 통해 알려드리겠습니다.

숙박약관

(요금 지불)

제12조

숙박자가 지불해야 하는 숙박요금 등의 내역 및 산정방법은 별표 제1에 열거된 것을 따릅니다.
2 전항의 숙박요금 등의 지불은 통화(엔), 숙박권, 신용카드 등 이를 대체하는 방법으로 숙박객이 출발 시, 또는 당 호텔이 청구 시에 프런트에서 지불해주시시오. 3 당 호텔이 숙박객에게 객실을 제공하고, 사용이 가능해진 후에 숙박객이 임의로 숙박하지 않은 경우에도 숙박요금은 받습니다.

(당 호텔의 책임)

제13조

당 호텔은 숙박계약 및 이와 관련된 계약을 이행하는데 있어, 또는 이를 불이행함에 따라 숙박객에게 손해를 끼친 경우는 손해를 배상합니다. 단, 그것이 당 호텔의 귀책사유가 아닌 경우는 이와 같지 않습니다.
2 당 호텔은 만일의 화재 등에 대처하기 위해 여관배상책임보험에 가입되어 있습니다.

(계약한 객실 제공이 안될 경우의 취급)

제14조

당 호텔은 숙박객에게 계약한 객실을 제공할 수 없을 경우, 숙박객의 양해를 구하여 가능한 한 동일 조건의 다른 숙박시설을 알선해 드립니다.
2 당 호텔은 전항 규정에도 불구하고 다른 숙박시설을 알선할 수 없을 경우, 위약금 상당액의 보상료를 숙박객에게 지불하며, 그 보상료는 손해배상액으로 충당합니다. 단, 객실 제공이 안되는 것과 관련하여 당 호텔에 귀책사유가 없을 경우는 보상료를 지불하지 않습니다.

(위탁물 등 취급)

제15조

숙박객이 프런트에 맡긴 물품에 관해 멸실, 훼손 등이 발생한 경우, 이것이 불가항력인 경우를 제외하고, 당 호텔은 당 호텔이 체결한 보험 약관에 따라 손해배상을 합니다.
2 숙박객이 당 호텔 내에 반입한 물품 중 프런트에 맡기지 않은 물건에 관해 멸실, 훼손 등이 발생한 경우, 당 호텔은 책임을 지지 않습니다. 단, 당 호텔의 과실로 인해 멸실, 훼손 등 손해가 발생한 경우 당 호텔은 당 호텔이 체결한 보험 약관에 따라 손해배상을 합니다.

(숙박객의 수하물 또는 휴대품 보관)

제16조

숙박객의 수하물이 숙박하기 전에 당 호텔에 도착한 경우는 수하물 도착 전에 당 호텔이 이에 동의한 경우에 한해 책임지고 보관하며, 숙박객이 프런트에서 체크인할 때 건내드립니다.
2 숙박객이 체크인아웃한 후에 숙박객의 수하물 또는 휴대품이 당 호텔에 남겨진 경우, 원칙적으로 발견일을 포함한 일정 기간 동안 보관한 후, 가까운 경찰서에 신고합니다.
3 전2항의 경우의 숙박객의 수하물 또는 휴대품 보관에 관한 당 호텔의 책임은 제1항의 경우는 전 제1항의 규정에 준거하며, 제2항의 경우는 전조 제2항의 규정에 준합니다.

(실내 대여금고 이용)

제17조

당 호텔은 숙박객이 객실에 구비된 대여금고에 수납하는 물건에 관해 보관을 약속하는 것이 아니며, 보관물의 분실 및 훼손 등에 관한 책임은 지지 않습니다.
2 대여금고에는 폭발물 등의 위험물, 동물, 기타 당 호텔 또는 제3자에게 손해를 끼칠 우려가 있는 물건을 수납할 수 없습니다.
3 대여금고 이용 기간은 숙박객이 체크인했을 때부터 체크아웃할 때까지입니다.
4 당 호텔은 대여금고 이용 기간 외에 보관물이 남겨진 경우, 금고를 열어 전조 제2항에 준하여 보관 및 신고를 합니다. 이 경우의 보관에 관한 당 호텔의 책임은 제15조 제2항의 규정에 준합니다.
5 당 호텔은 법령에서 정해진 바에 의거해 대여금고를 열도록 요구받은 경우, 보관품이 당 호텔 또는 제3자에게 손해를 끼칠 우려가 있다고 인정되는 경우, 기타 금고를 열 필요성이 인정되는 경우에는 대여금고 이용 기간 내라 하더라도 대여금고를 열거나, 그 외 당 호텔이 필요하다고 인정하는 조치를 취할 수 있습니다. 또한 이로 인해 발생한 손해에 관하여 당 호텔은 책임을 지지 않습니다.

(주차사의 책임)

제18조

숙박객이 당 호텔 주차장을 이용할 경우, 차량 열쇠

위탁 여부와 상관없이 당 호텔은 장소를 빌려드리는 것일 뿐, 차량의 관리 책임까지는 지지 않습니다. 단, 주차장 관리에 있어서 당 호텔의 고의 또는 과실로 인해 손해를 끼쳤을 경우는 그 배상 책임에 임합니다. (숙박객의 책임)

제19조

숙박객의 고의 또는 과실로 인해 당 호텔이 손해를 입은 경우, 해당 숙박객은 당 호텔에 대해 그 손해를 배상하여야 합니다.

(면책사항)

제20조

저희 호텔 내에 있는 컴퓨터 통신 이용에 대해서는 고객님의 자신의 책임 하에 이용하는 것으로 합니다. 컴퓨터 통신 이용중에 시스템 장애 및 기타 이유로 인해 서비스가 중단되거나, 그 결과 이용자가 어떠한 손해를 입은 경우에도 당 호텔은 일체의 책임을 지지 않습니다. 또한 컴퓨터 통신의 이용에 있어서 당사가 부적절하다고 판단한 행위로 인해 당 호텔 및 제3자에게 손해가 발생한 경우, 그 손해를 배상하여야 합니다.

(준거 언어)

제21조

이 약관이 일본어 이외의 언어로 작성된 경우, 그 언어의 약관과 일본어 약관 간에 불일치 또는 상이한 점이 있을 시는 모두 일본어 약관에 따르기로 합니다.

별표 제1 숙박요금 내역(제2조 제1항 및 제12조 제1항 관련)

	숙박요금	①객실요금	②서비스료 (①×0%)
		③음식료 및 기타 이용요금	④서비스료 (③×0%)
숙박객이 지불해야 할 총액	세 금	가 소비세	
		나 숙박세 객실요금 (①+②) 1명당	
		10,000엔 미만 과세되지 않습니다	
		10,000엔 이상 15,000엔 미만 100엔	
		15,000엔 이상 200엔	

(비고) 세법이 개정될 경우, 새로 개정된 규정을 따릅니다.

별표 제2 위약금(제6조 제2항 관련)

계약신청 인원수		계약해제를 통보 받은 날				
		불박	당일	전날	9일전	20일전
일반	14명까지	100%	100%	20%	-	-
단체	15명~99명까지	100%	100%	20%	10%	-
	100명 이상	100%	100%	80%	20%	10%

- (주) 1 %는 객실요금에 대한 위약금의 비율입니다.
- 2 계약일수가 단축된 경우, 단축 일수와 상관없이 1일치(첫날) 위약금을 받습니다.
- 3 단체객(15명 이상) 중 일부의 계약해제가 발생할 경우 숙박 10일전(이날 이후에 신청을 받은 경우, 신청받은 날)의 숙박인원수의 10%(소수점 단위일 경우 반올림)에 해당하는 인원수에 관해서는 위약금을 받지 않습니다.